

# 下野市立石橋小学校

## 1 学校課題

(1) 研究主題 「豊かな心で、共に生きる子どもを育む道徳教育」

～自ら考え、学び合う道徳の時間をめざして～

### (2) 研究の仮説

- ① 資料や指導の手立ての工夫を通して、心に響く道徳教育の充実を図れば、感動する心、正義公正を重んじる心、生命・人権を尊重する心など道徳的価値を大切にする心や態度が育つであろう。
- ② 思考力・判断力・表現力を育む言語活動の充実を図れば、自ら考え、豊かに表現しようとする態度を養い、豊かに学び合う集団が育つであろう。
- ③ 他の教育活動と道徳学習の関連を図り、日常の教育活動の中で、児童に課題意識を持たせることによって、道徳的実践力が育つであろう。

### (3) 研究の基本方針

- ① 道徳的価値を大切にする心や態度を育てる。
- ② 言語活動の充実を図り、豊かに学び合う集団を育てる。
- ③ 道徳の時間と各教科・領域との関連を図り、日常の教育活動の中で意図的な働きかけを行う。
- ④ 外部講師の活用を図り（S&Uコラボ事業等）、研修会の充実を図る。

### (4) めざす児童像

友達と学び合って、考えを深め、よりよく生活しようとする児童

### (5) 育てたい力

道徳的な心情、道徳的判断力、道徳的実践意欲と態度などの道徳性を磨き、自分の中の道徳的価値を高める力

## 2 研究計画

月	主な研究内容
4～5	<ul style="list-style-type: none"> <li>○学校課題確認、共通理解、組織作り</li> <li>○学年ブロック会による年間計画の見直し、資料選定</li> </ul>
6 ～ 12	<ul style="list-style-type: none"> <li>○校内研修</li> <li>○指導案検討会（学年会・ブロック会）</li> <li>外部講師を招いての研究授業・学年会での研修会・全体会</li> <li>・6/20 自主公開（中山先生） 4年2組 5年1組</li> <li>・7/7 自主公開（中山先生） 1年2組 6年3組</li> <li>・9/18 文科省学習指導実践研究協力 2年1組 6年2組</li> <li>・11/27 自主公開（中山先生） 3年1組 5年2組</li> <li>・12/27 S&amp;U コラボ事業 2年2組 4年1組</li> <li>○自主公開授業 道徳2回 その他5回</li> <li>○調査・環境整備活動</li> </ul>
1～2	<ul style="list-style-type: none"> <li>○本年度の反省及び次年度の計画</li> <li>○研究集録作成</li> </ul>



## 3 研究内容

### (1) 心に響く道徳授業に取り組む

- ① 児童の実態に添った価値を考える。  
価値について多様なとらえ方を研究する。  
価値と資料の関係を見直す。
- ② 児童の問題意識を大切にする。  
導入で問題意識を持たせる工夫をする。  
児童の意見をつなげる展開や板書を工夫する。
- ③ 児童が本音で語り合える授業を目指す。



受け入れられ認められる安心感をはぐくむ話合いの工夫をする。  
 児童の考えをまとめる時間を大切にし、教師の発言は中心発問に絞り、心情を深める。

## (2) 教師同士も学び合える授業研究会の在り方

- ① 指導や技術に関する情報を共有し、互いに学び合う。
- ② 文科省学習指導実践協力校 S&U コラボ授業を利用し、一人一授業公開授業を行う。

ア 文科省学習指導実践協力校 道徳研修会

2年1組「しんせつっていい気持ち」

6年2組「法やきまりを守って」

文科省初等中等教育局教育課程課教科調査官 赤堀 博行 先生

イ S&U コラボ事業授業研究会

2年2組「きいろいベンチ」

4年1組「運動オンチのオリンピック」

宇都宮大学准教授

上原 秀一 先生

〃

和井内良樹 先生

下野市教育委員会指導主事

高山 靖子 先生

ウ 自主公開授業



4年2組「よわむし太郎」

5年1組「セルフジャッジ」

1年2組「ある ひの きょうしつ」

6年3組「郷土や国を愛する心を」

3年1組「なかよしポスト」

5年2組「からかっただけなのに」

小山市立大谷東小学校長 中山 和彦先生

## 4 本年度の成果と課題

### (1) 研究の成果

- ① 日本の道徳教育の先端を担っている講師の方々に直接お話を伺えた。どの方の講話も説得力があり納得する内容で、次の授業で挑戦したくなるが多かった。教職員の指導力向上、道徳教育への意欲につながった。
  - ・教科の基本（赤堀先生）
  - ・地に着いた道徳・学びあう集団の形成（中山先生）
  - ・価値と資料の関係 道徳への熱き情熱（上原・和井内先生）
 講師陣によっていろいろな考え方があるが、どの方もよりよきものをもとめ切磋琢磨している。道徳教育に関わる姿勢も学んだ。
- ② 研修課題について9割の教員が「重点目標を共有し実践できた」「おおむねできた」と考えている。各自が新たな気付きや学びを吸収し、目指す児童像に向け実践してきた。
- ③ 内容項目について掘り下げて考えるようになってきた。例 4-(1)規則尊重・公德心であっても、資料で何を考えさせられるか区別して考えることが大切。

### (2) 今後の課題

- ① 児童が「ねらい」に迫ることができたかどうか、個別の見取りを大切にし、継続したい。
- ② 価値項目をどう考えるか。本校の重点項目を検討し全校で課題を共有し研修したい。
- ③ 教師各自のよさを互いに学び合えるような、自由な雰囲気自主公開授業を多く設定したい。
- ④ 教科化に向け研修したこと「わたしたちの道徳」日常での価値の意識化などを具現化していく。

